

## 市外—佐伯・鶴見半島の史跡探訪

十月二十五日（日）、恒例の市外史跡探訪を実施しました。生憎の曇り空の中でしたが、四十名の参加がありました。

別府駅西口を八時過ぎに出発し、別府インターから高速道路で佐伯を目指しました。

後藤会長さんから、挨拶に加え県南の説明等を受けながら佐伯市に入り、鶴見半島を進みました。

鶴見町で佐伯史談会の神田亀吉氏と合流し、神田氏案内の下、見学順番を一部変更し、梶寄水の子島海事資料館・渡り鳥館を見学しました。曇り空でしたが、遥かに霞む「水の子灯台」を見ることができました。

次いで九州最東端の鶴御崎灯台を見学しましたが、この日は我々の他に三台の観光バスの一団が訪れていました。「男の港」の歌手鳥羽一郎後援会の一行でした。その前にも一台の観光バスとすれ違いました。多くの観光客が訪れていることを垣間見ました。次いで、豊後水道三百六十度の眺望をパノラマ展望ブリッジから楽しみました。

お昼を過ぎましたが、本日の大目的地でもある丹賀砲台の見学研修を行いました。遺跡は丹賀砲台園地として整備され、

見学がし易くなっています。

見学を終え昼食場所「つるみ農水産物直売所」で遅い昼食となりましたが、今流行りの海鮮丼を堪能しました。

レジュメと資料を載せますので参考にして下さい。

### 佐伯・鶴見半島の史跡探訪

◇現地講師 佐伯史談会 神田 亀吉氏

日 時 一〇月二五日（日）

七時五〇分集合・八：〇〇発

集合場所 別府駅西口構内

利用バス 日清バス

日程 別府駅↓高速道経由↓佐伯市↓鶴見半島丹賀砲台園地↓

八：〇〇 八：五五 九：一五〜九：四五

梶寄水の子島海事博物館・渡り鳥館↓鶴御崎灯台・砲

九：五五〜一〇：三〇 一〇：三五〜一一：三〇

台跡・望楼跡・パノラマ展望ブリッジ↓つるみ農水産

一三：〇〇〜一四：〇〇

物直売所（昼食・買い物）↓別府駅西口

一五：二〇

\*時間表は一応の目安です。

《見学場所案内》 神田さんに案内して頂きます。

\* 鶴見半島丹賀砲台園地

豊予要塞の要として昭和四年に設置された陸軍の砲台。海軍の巡洋艦「伊吹」の砲塔を移設。昭和一七年試射中に暴発して崩壊。防塞地下施設の一部が保存されている。

\* 梶寄水の子島海事博物館・渡り鳥館

水の子灯台の灯台守の退息所を修復した建物。古い漁具や船舶模型、灯台備品などが展示されている。

渡り鳥館には六二種、五五〇羽の鳥の剥製が展示されている。灯台にぶつかった鳥類を丹念に採録したもの。

\* 鶴御崎灯台・海軍望楼跡

九州最東端の地（東経一三二度五分・北緯三〇度五五分）、二〇〇mの絶壁の崖の上に立っている。昭和五六年に完成した。明治二七年に設置された海軍望楼（豊後水道監視）も残存。

\* 鶴御崎砲台跡・先端洞窟砲台跡

鶴御崎の頂上部に掩壕が残存している。丹賀砲台暴発後に構築された砲台。

洞窟砲台は、昭和二〇年空襲を避けて半島最先端の絶壁に穿たれた洞窟内に構築された砲台で、洞窟が残存している。通路崩落のため現在立ち入り禁止。

\* パノラマ展望ブリッジ

鶴御崎砲台跡のある頂上部に設けられている。豊後水道を一望する眺望は絶景である。

\* つるみ農水産物直売所

鶴見町の水産物などの特産品の販売所兼食堂。買い物はここで。



鶴御崎灯台



鶴御崎 記念写真